

抱擁型生命感サイバネティックアバター(CA)の研究開発

概要

本研究では、セラピーやカウンセリング支援等のメンタルケアを目的とした抱擁型生命感サイバネティックアバター(CA)を開発します。CAと利用者の関係、CAの操作者と利用者との関係、CAと操作者の関係についての研究開発を行うことで、メンタルケアを必要とする子どもや成人(自閉症児や高齢者も含む)を対象に安心感をもたらすCAの実現を目指します。

特徴

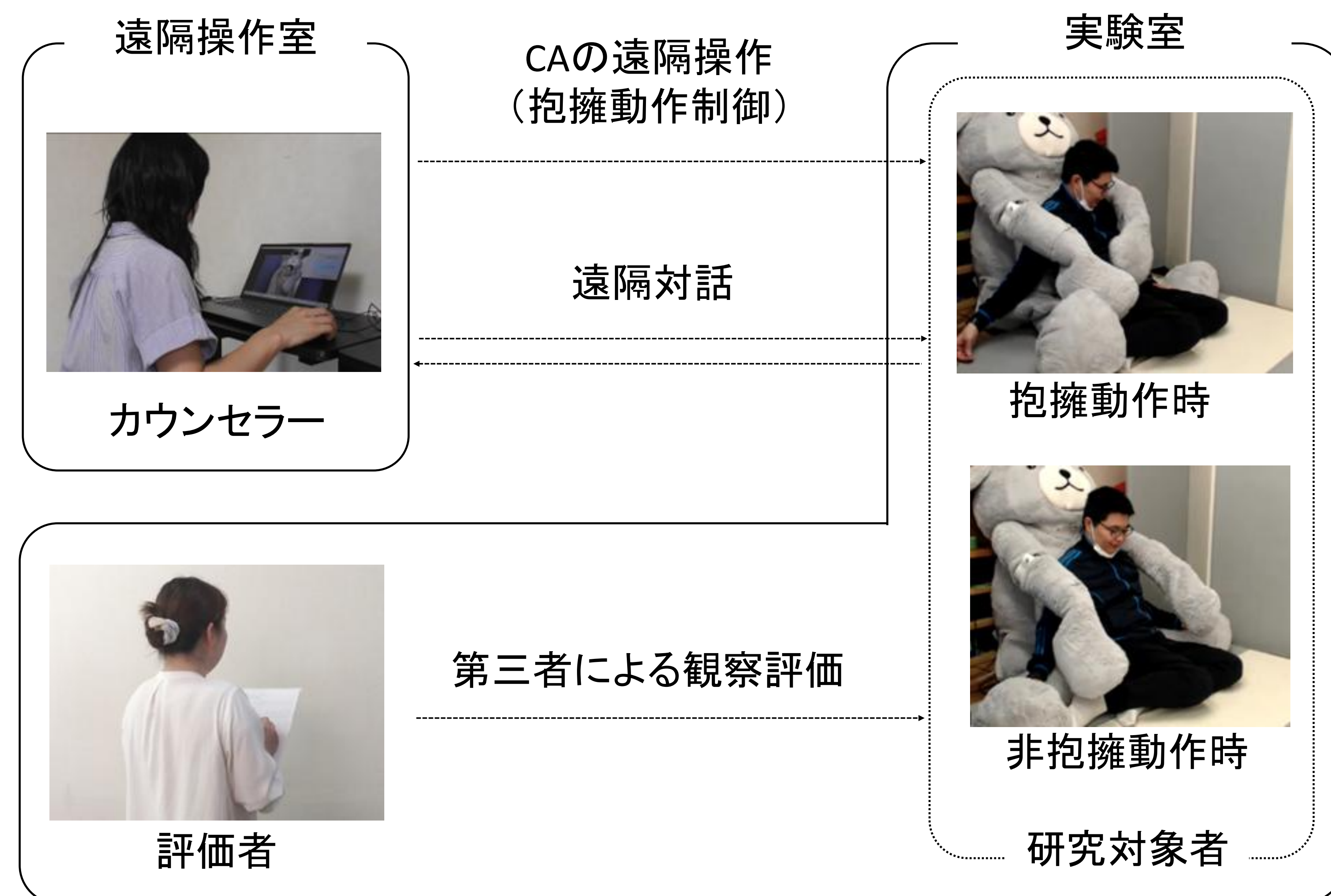
- メンタルケアなどを対象とする実用的サービスを提供するために必要なCAの基礎的研究開発に取り組んでいます。抱擁を伴う遠隔対話を実現するためのユーザインタフェースに関する研究開発にも取り組んでいます。
- 特別支援教育施設で、支援を必要とする人々と抱擁しながら対話を行うことでメンタルサポートを行う取り組みを進めつつあります。2年以上にわたる実験を進行中で、延べ約300回にわたってCAとの抱擁を体験していただいています。
- CAによる能動的な触れ合いを伴う遠隔対話カウンセリングを通じて、支援を必要とする人々の緊張をほぐし、より落ち着いて対話を行えるようになることが多様な評価項目から明らかになりました。

今後の展開

- 特別支援教育施設における本格的な実証実験に向けて、CAを遠隔操作するシステムの開発や評価項目の検討を進めています。成人や高齢者を対象としたCAの有効性や、安心感をもたらす効果を検証する取り組みも進めます。

テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- 現状の社会課題の一つに、世界各国で増加する精神疾患が挙げられます。CAを通じたメンタルサポートは、精神疾患の早期発見・治療に向けて重要な役割を担うサービスとなります。触れて話すという根源的なインタラクションをもたらす科学技術の実現を通じて、様々な人がCAとの対話を通じて心理的な安心感を得ることができる未来社会を目指します。



株式会社国際電気通信基礎技術研究所
インタラクション科学研究所

担当 大西 裕也 E-Mail: y-onishi@atr.jp

本研究は、JST ムーンショット型研究開発事業、JPMJMS2011 の支援を受けたものです。